

講義コード	11C0105901	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	ホームマン 由佳	開講期	第1期
科目名	異文化コミュニケーションⅠ				ホームマン 由佳		第1期		
履修前提条件					備考				
授業の目的	インターネットなど情報通信の革新によって世界は狭くなり、さまざまな文化が混在する社会において異文化理解の重要性がますます高まっている。この授業では、異なる文化的背景を持つ人との間に生じる誤解のケーススタディなどを通して、文化的衝突を避ける方法などを学ぶ。将来社会に出たときにも役立つソーシャルスキル（社会技能）としての「異文化対応力」を身につけることを目的とする。								
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>異なる文化的背景を持つ人とのコミュニケーションを前向きにとらえることができる。</li> <li>自分の物差しだけで物事をとらえない習慣を身につけることができる。</li> <li>異文化間のコミュニケーションで生じうる誤解の原因を見つけるメソッドを使って分析できる。</li> </ol>								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	指定教科書の復習。 授業外学修時間は60時間。								
授業計画	<p>【第1回】 講義概要</p> <p>【第2回】 異文化間コミュニケーションの背景（1）</p> <p>【第3回】 異文化間コミュニケーションの背景（2）</p> <p>【第4回】 異文化間コミュニケーションの領域</p> <p>【第5回】 文化とコミュニケーション（1）</p> <p>【第6回】 文化とコミュニケーション（2）</p> <p>【第7回】 非言語コミュニケーション（1）</p> <p>【第8回】 非言語コミュニケーション（2）</p> <p>【第9回】 異文化ケーススタディ異文化対応能力（1）</p> <p>【第10回】 異文化ケーススタディと異文化対応能力（2）</p> <p>【第12回】 異文化ケーススタディと異文化対応能力（3）</p> <p>【第13回】 異文化コミュニケーション実践トレーニング（1）</p> <p>【第14回】 異文化コミュニケーション実践トレーニング（2）</p> <p>【第15回】 総括</p>								
成績評価の方法	課題提出 50%、期末試験 50%								
フィードバックの内容	授業中に取り組み演習課題の結果を翌週以降の授業内で教員が開示し、学生の理解や意見を共有する。								
教科書	『異文化間コミュニケーション入門』鍋倉健悦（丸善ライブラリー）								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	このクラスは英語を習得するための語学の授業ではありませんので、受講には英語ができる必要はありません。ただ、異文化間の言動を比較するケーススタディを扱うので、英語ができる学生には有益かもしれません。授業は教員による講義とワークシートを使用する演習の2本立てで進めます。授業では自分の考えを書いて提出してもらいますので、積極的な授業参加を期待します。私語は他の学生に迷惑になりますので慎んで下さい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワー（水曜日2限）にて受け付けます								
その他	随時プリント配布								